

北陸ESD推進コンソーシアム 2024年度の活動

全国ESDコンソーシアム/
ステークホルダー円卓会議2025
22/02/2025

北陸ESD推進コンソーシアム事務局
事務局長 加藤隆弘（金沢大学）
コーディネーター 今井和愛（石川県ユネスコ協会）
池端弘久（石川県自然史センター）



北陸ESD推進コンソーシアム

設 立: 2014年9月 (設立10周年)

主幹団体: 金沢大学

加盟団体: 北陸3県のユネスコスクール、各教委、大学、企業、民間団体 等 約130団体

活 動: SDGsの達成に向けたESD推進に関するマルチステークホルダーの対話の場を構築するとともに、情報の共有、交流、協働の促進を図る。そのためのプラットフォームとしての機能を充実する。(独自事業実施、交流会・報告会等の主催、講師派遣・・・)

最近の事業(2019年度～2024年度): 文部科学省ユネスコ活動費補助金

- ・第1期3年計画(2019年度～2021年度)

「北陸における SDGs達成に向けたe ラーニング教材開発を中心とする
教員等の人材育成」

- ・第2期3年計画(2022年度～2024年度)

「SDGs達成に向けたeラーニング教材開発及びオンライン講座によるコミュニティづくりによる教員等の専門能力開発」



輪島市内

R6能登半島地震

(2024. 01. 01) (16:10)

震源: 北緯37.5度 東経137.3度

規模: M7.6

最大震度: 7 震源の深さ: 16km

震度5強以上の観測県

石川県、新潟県、富山県、福井県

死者: 535人 負傷者: 1254人

(災害関連死 307人)

住宅被害: 103911戸

避難者(最大): 34173人

写真: 石川県



珠洲市内



のと里山海道 (横田IC~徳田大津JCT)



内灘町内



能登町内

大雨被害の概況(R6.9)



R6.9 奥能登豪雨災害 (二重被災)

(2024.09. 20~23)

死者: 14人

負傷者: 61人

住宅被害: 414棟

がけ崩れ: 13件

土石流: 21件

地すべり: 4件

仮設住宅床上浸水: 6団地、222戸

農業被害: 1960か所

写真: 石川県

R6能登半島地震の発災を受けて

1. 防災、減災教育について
 - ①被災地の教育現場の現状を把握
 - ②教育現場の被災、復旧、復興のプロセスから学ぶ
 - ③今後の防災、減災教育のアップデート、トランスフォームに生かす
(東日本大震災から能登半島地震、そして南海トラフ大地震に備える)
2. 地域や教育のレジリエンス強化について
 - ①持続可能な地域のレジリエンス強化について
 - ②地域のレジリエンスを強化する人材育成・教育について
 - ③人材育成の中核である教育のレジリエンス強化について
3. 二重被災と地域・教育のレジリエンスについて
 - ①自然災害と人的災害の境界(災害がもたらす新たなリスク)について
 - ②地域の特殊性に基づく防災・減災教育の転換について

能登の里山・里海教育を継続しようとする姿に教育のレジリエンスについて学ぶことができる！

1. 発災前の里山・里海教育（海洋教育）の価値
（発災後も教育を継続できる土台：地域学習のポテンシャル）
2. 里山・里海教育を支える**ネットワークの存在**（金沢大学、国連大学、NPO等）
3. 東日本大震災に学んだ防災・減災教育の何が貢献し、能登半島地震によって何をアップデートできるのか、そして南海トラフ巨大地震の想定地域に何を伝えるのか（**地域の特殊性、復旧復興に潜む次のリスク**）
4. 発災後も里山・里海教育を継続するプロセスから、**教育のレジリエンスを強化する手掛かり**を考える
5. 発災後も里山・里海教育を継続する人々の姿や有り様（トランスフォームする姿）から、**教育のレジリエンスを強化するために必要な教員の専門能力とその開発について考える**

我々が学んだことと被災地の学校や先生方が頑張っていることを、国内外に伝えることは被災地の学校や先生方を勇気づけることになるのではないか。

教育分野の復旧・復興を担う教員や学生が、防災・減災など地域・教育のレジリエンスを高める指導力、専門能力の開発に向けた事業

① eラーニング教材の制作 : 研究者や専門家が教育実践に伴走することで、教育実践の質が高まり、その持続可能性も高まることを教材化できた。また、教員を目指す学生や大学院生が、被災地能登の学校現場を取材しESDの教育実践や実践者に学び、その過程をeラーニング教材化した。

② オンライン講座の開催 : 能登半島地震による被災地の復旧・復興やその支援、防災・減災、地域や教育のレジリエンスを強化する取り組みなどについて学び合うコミュニティを創出し、教員の指導力、専門能力を開発した。阪神淡路大震災、東日本大震災から能登半島地震、そして南海トラフ地震、ESDを繋ぐ6回連続講座を開催した。

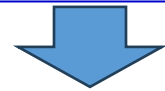
③ 北陸SDGs未来都市人材育成・教育フォーラムの開催(1月25日)

北陸のSDGs未来都市17都市における人材育成について、教育委員会など教育関係部署等が学び合い交流・連携するコミュニティの創生に向けて連携する。能登半島地震からの学びをテーマに7都市の担当者参加で開催できた。

④ 全国ESDコンソーシアム連携の開始 : 各コンソーシアムの教育的リソース(人材、教材、講座、研修機会など)を互いに共有・共用することができる緩やかな連携環境をつくることで、「ESD for 2030」を学び推進する教員や学生、教育関係者のコミュニティを創出する一歩を歩み始めた。

教育実践に伴走する研究者、専門家、関係諸団体

- 「地域での学びから持続可能な社会を考える学習機会の創出」 珠洲市自然共生室自然共生研究員 宇都宮大輔
- 「海に親しみふるさとにほこりと愛着を持つ児童の育成」 能登町立小木小学校 校長 倉見倫代
「被災地で学びをつなぐ・学校教育コーディネーターの果たす役割」 能登里海教育研究所統括研究員 浦田 慎
- 犀桜小学校における生物文化多様性の教育実践 金沢市立犀桜小学校 教諭 木村元威（6年担任）
金沢市立犀桜小学校 教諭 西田華菜美（6年担任）
国連大学サステナビリティ高等研究所OUIK 研究員 フアン・パストール・イヴァールス
- 富山市における被災地と交流を通じた防災・減災教育 富山市立神通碧小学校 教頭 林 亜希子
富山ユネスコ協会 副会長 水上庄子



- ・被災地（能登）の教育の復旧を支える伴走者、ネットワーク
- ・被災前から能登の先進的な教育を支えるネットワークの構築
- ・教育実践の質を高める
- ・教師の専門能力の開発

ESD・SDGsオンライン講座(R7能登半島地震に学ぶ)

阪神淡路大震災、東日本大震災から能登半島地震、そして南海トラフ巨大地震、ESDを繋ぐ6回連続講座を開催

回	月日	主題	講師	現場報告
1	9/21 (土)	R6 能登半島地震に学ぶ —能登の魅力と創造的復興—	国連大学サステイナビリティ 研究所 OUIK 小山明子 研 究員	奥能登：珠洲市教育委員会 太佐真一郎 参事 (災害対応で不参加)
2	10/05 (土)	東日本大震災に学ぶ —地域と教育のレジリエンス—	奈良教育大学 ESD・SDGs セ ンター副センター長及川幸彦 准教授	奥能登：能登町 小木小学校 倉見倫代 校長 加藤政昭 前校長
3	10/19 (土)	阪神淡路大震災に学ぶ—なぜ 神戸で大地震が起こったの か？—その教訓と今後の防 災・減災教育の課題—	かがく教育研究所（神戸）地 球科学、防災減災教育 髯本 格 先生	奥能登：輪島市 門前西小学校 森田清治 前校長 金沢市立押野小学校校長

4	11/9 (土)	南海トラフ大地震につなぐ —地域と教育のレジリエンス 及びその強化— (仮題)	三重大学地域圏防災・減災研 究センター長 川口 淳 教授	三重県鳥羽市教育委員会 指導主事 川村和徳 指導主事 濱口真智子
5	12/7 (土) 14:00 ～ 16:30	ESD (気候変動教育等) につ なぐ —防災減災 (教育) と気候変 動 (教育) — <u>北陸ユネスコスクール教育実 践交流会との併催 (開催時間 の変更)</u>	奈良教育大学 ESD・SDGs セ ンター副センター長 及川幸彦 准教授	能登町立小木小学校 田中結香 教諭 能登里海教育研究所 能丸恵理子 研究員 佐賀大学 井野口陽一 4 年 富山ユネスコ協会 高木要志男 会長
6	1/24 (金) 17:00 ～ 18:30	ESD (教育のレジリエンス) につなぐ —地域と教育のレ ジリエンス及びその強化— (開催曜日が金曜日に、開催時 間が 17:00~18:30 に変更)	奈良教育大学 ESD・SDGs セ ンター センター長 中澤静男 教授	JICA 北陸 業務部 高野勝郎

能登半島地震に学ぶeラーニング教材制作学生プロジェクト(大学生グループによるeラーニング教材制作)

01 プロジェクト概要

▼目的

- ①SDGsに関わる教育の取り組みを取材しまとめ、各学校・教員などに共有する。
- ②教育のレジリエンス強化（自然災害以外にも教育の発展に関して）
 - ・今年度で4年目

▼これまでの取り組み

- ・例年は金沢市内の小中学校に取材
- ・ESDとは何か？ポイントなど授業内容に着目

▼今年度の取材場所・対象

- 珠洲市宇都宮さん、能登町立小木小学校
- ・能登半島地震の影響を受け、取り組みをどのように後世に伝えていくか



04 授業参観

日時：2024年10月18日14時～16時

場所：石川県能登町立小木小学校6年生教室

参加者：能登町立小木小学校6年生、海洋教育担当教諭 田中結香氏

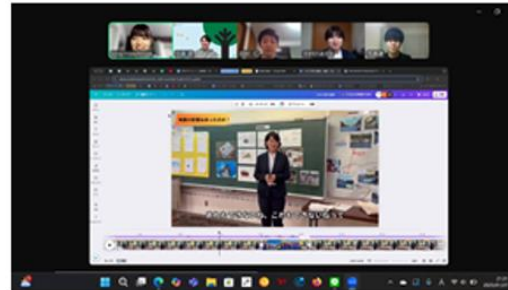
内容：授業参観および田中教諭へのインタビュー



02 生き物調査

- ・日時：6月25日
- ・場所：校区内の田んぼ
- ・参加者：珠洲市若山小学校の3.4年生、3.4年生の担任、宇都宮大輔氏、NPO法人能登半島おらっちゃんの里山里海の会員
- ・内容：昆虫や水生生物の採取・記録

05 学生グループの活動



- ・取材
- ・ミーティング
- 週一回対面・オンラインで実施
- 企画班・動画編集班で役割分担

今後の展望

- 「能登半島地震に学ぶ―地域のレジリエンス強化と教育のレジリエンス」に関する2年目の取り組みを進める。
- SDGs達成に向けたeラーニング教材開発と活用を進め、ESD・SDGsオンライン講座・学習コース等の開設する。
- ユースによるESDコミュニティ創生支援事業（北陸のユース・コミュニティの創出と共に全国のユースとの交流）
- 全国ESDコンソーシアム連携を拡大、深化（教材や人材の共有・共用を進めるとともに、講座や研修会の相互利用などを進める）。
- 若手教員等が勤務時間内にオンラインや対面で、研修機会に参加したり教材研究のためのコンテンツにアクセスしたりできるような研修環境づくりを進める。
- 教育実践に研究者や専門家などが伴走できる環境づくり
- ESD・SDGsに関する学会や研究会に教員と研究者、教員を目指す学生などが共著の形で研究論文や報告書を作成発表するなど、共同実践、共同研究、共同発表を旨とした教育実践を進める。



ご清聴ありがとうございました。

(石川県金沢市 医王山)

ESDコンソーシアム 協働プロジェクト（提案）

全国ESDコンソーシアム/
ステークホルダー円卓会議2025
22/02/2025

北陸ESD推進コンソーシアム事務局
事務局長 加藤隆弘（金沢大学）
コーディネーター 今井和愛（石川県ユネスコ協会）
池端弘久（石川県自然史センター）



全国ESDコンソーシアム連携の経緯

- 2023年2月 全国ESDコンソーシアム/ステークホルダー円卓会議2023
 - ・北陸ESD推進コンソーシアムから呼びかけ
「ESDコンソーシアムが連携して互いの教育的リソースを共有・共用できるようにネットワークを作いませんか！」
- 5つのコンソーシアムで連携会議(2023~2024:6回)
 - ・「緩やかな連携」(HPのリンク)で合意
 - ・互いの個性や特性を尊重し、多様性を大切にする。
- 2025年から連携開始(互いの教材や講座などの情報共有と共同利用)

各コンソーシアムのHPのトップページか関連ページに 「ESD・SDGsを学ぶ全国ネットワーク」のバナーを貼る

バナーをクリックする
↓

近畿 ESD コンソーシアム

[トップページ](#) [近畿 ESD コンソーシアムとは](#) [事業内容【奈良教育大学共同事業】](#) [ESD 活動日誌](#) [ESD 学習指導案](#) [ユネスコスクール・ESD 関連出版物一覧](#)



国立大学法人
奈良教育大学

近畿 ESD コンソーシアム

[トップページ](#)

事業内容【奈良教育大学共同事業】

- ESD ティーチャー 認証プログラム
- ESD ティーチャー 認証プログラム (現職教員向け)
- ESD ティーチャー 認証プログラム (学生向け)

■ならやまオープンセミナー ESD・SDGs 連続オンラインセミナー 2024

奈良国立大学機構・奈良教育大学では、2022年にSDGsの達成に資するESDに貢献するESDナショナルセンターをめざし「奈良教育大学ESD・SDGsセンター」を設立しました。その事業の



みんなで学ぶ
ESD・SDGs



ESD for 2030

「ESD・SDGsを学ぶ全国ネットワーク」

ESD、SDGsに関する学びの場に参加しよう！

これから開催される公開講座や学習会の情報や
アーカイブされ公開されている関連教材等にも
出会えます。

Let's click

「ESD・SDGsを学ぶ全国ネットワーク」のページに跳ぶ 連携するコンソーシアムのバナーをクリックする ↓



これから開催される公開講座、研究会の情報や、アーカイブされ公開されている関連教材等を見ることができます。

【北海道】

【東北】

[東北ESDコンソーシアム](#)

【関東】

【中部】



【近畿】

[近畿ESDコンソーシアム](#)

【中国】



教材ページは[こちら](#)

【四国】

【九州・沖縄】

東北ESD
コンソーシアム





- ・検索したいコンソーシアムのHPのトップページか該当ページに跳ぶ
- ・検索したいコンテンツをクリックして教材や講座、研修会などの情報にアクセスする。↓

各コンソーシアム公開、限定公開の考え方や方法を尊重して、共有・共用する。



共催・共同の事業も推進



会員や加盟団等に連携団体の情報を提供

全国ESDコンソーシアムの連携から協働へ

- 若手教員や教職を目指す学生や院生、教育に興味を持つ高校生などが、
- 地域の特殊性から生み出されるESDやSDGs学習などに関するコンテンツに、
- 勤務時間や授業時間にアクセスできる環境の中で、
- 自らの意思と計画で学習機会や交流機会を設け、
- 全国の個性的な教育実践者、研究者、専門家等と共に、
- 多様な教育実践に学べるコミュニティーを創ろう。

皆さんと連携・協働するネットワークをつくりましょう

(石川県金沢市 キゴ山)